

様式第3号（第11条関係）

特定施設の構造（特定施設の使用（及び管理）の方法・ばい煙等の処理（防止）の方法）の変更届出書

ばい煙等の種類	ばい煙 粉じん 汚水等 騒音
---------	-------------------------

年 月 日

様

届出者

（氏名又は名称及び住所  
並びに法人にあっては、  
その代表者の氏名）

担当者

（電話番号）

佐賀県環境の保全と創造に関する条例第11条第1項の規定により、特定施設の構造（特定施設の使用（及び管理）の方法・ばい煙等の処理（防止）の方法）変更について次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類の欄		※施設番号	
特定施設の構造	ばい煙（別紙1のとおり） 粉じん（別紙4のとおり） 汚水等（別紙5のとおり） 騒音（別紙8のとおり）	※審査結果	
		※備考	
	特定施設の使用（管理）の方法	ばい煙（別紙2のとおり） 粉じん（別紙4のとおり） 汚水等（別紙6のとおり） 騒音（別紙8のとおり）	
ばい煙等の処理（防止）の方法	ばい煙（別紙3のとおり） 汚水等（別紙7のとおり） 騒音（別紙8のとおり）		

備考

- 1 ばい煙等の種類の欄は、該当するものを○で囲むこと。
- 2 特定施設の種類の欄には、次の区分により必要な事項を記載すること。
  - (1) ばい煙に係るものについては、佐賀県環境の保全と創造に関する条例施行規則（以下「規則」という。）別表第1の1ばい煙に係る特定施設及び規制基準の表に掲げる番号及び施設の名称
  - (2) 粉じんに係るものについては、規則別表第1の2粉じんに係る特定施設及び規制基準の表に掲げる番号及び施設の名称
  - (3) 汚水等に係るものについては、規則別表第3の1特定施設の表に掲げる(1)から(8)まで及び施設の名称
  - (4) 騒音に係るものについては、規則別表第2の1特定施設の表に掲げる(1)、(2)及び機械の名称
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 変更のある部分については、変更前及び変更の内容を対比できるように記載すること。
- 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

\*個人情報の取扱いについて

本届出・申請等により提出された個人情報に関しては、佐賀県の個人情報保護の基本指針である「佐賀県プライバシーポリシー <http://www.pref.saga.lg.jp/kijij00319144/index.html>」に従い、取り扱うこととしております。ただし、この法律の施行に必要な範囲内において、関係機関等に情報を提供する場合があります。

## 別紙 1

## ばい煙に係る特定施設の構造

工場又は事業場における施設 番号		
名称及び型式		
設置年月日（既設のもの）	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
原料の処理能力 (kg/h)		
燃料の燃焼能力 (重油換算 L/h)		
変圧器の定格容量 (kVA)		

## 備考

- 1 設置の届出の場合には工事着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用の届出の場合には設置年月日の欄に、構造の変更等の届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 原料の処理能力の欄には、佐賀県環境の保全と創造に関する条例施行規則別表第 1 の 1 ばい煙に係る特定施設及び規制基準の表の規模又は能力の欄に規定する項目について記載すること。
- 3 熱源として燃料を使用するものは燃料の燃焼能力の欄に、熱源として電気を使用するものは変圧器の定格容量の欄に、それぞれ記載すること。
- 4 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格 A4 の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

## 別紙2

## ばい煙に係る特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号					
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	時～時 時間/回 回/日 日/月		時～時 時間/回 回/日 日/月	
	季節変動				
原材料  (ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種類				
	使用割合				
	原材料中の成分割合 (%)	いおう分	鉛分	いおう分	鉛分
	1日の使用量				
燃料又は電力	種類				
	燃料中の成分割合 (%)	灰分	いおう分	灰分	いおう分
	発熱量				
	通常の使用量				
	混焼割合				
排出ガス量 (m <sup>3</sup> N/h)	湿り	最大	通常	最大	通常
	乾き	最大	通常	最大	通常
排出ガス温度 (°C)					
排出ガス中の酸素濃度 (%)					
ばい煙の濃度	ばいじん (g/m <sup>3</sup> N)	最大	通常	最大	通常
	いおう酸化物 (容量比 ppm)	最大	通常	最大	通常
	鉛及びその化合物 (mg/m <sup>3</sup> N)	最大	通常	最大	通常
ばい煙量	いおう酸化物 (m <sup>3</sup> N/h)	最大	通常	最大	通常
参考事項					

## 備考

- 1 原材料中の成分割合 (%) の欄及び燃料中の成分割合 (%) の欄の記載に当たっては、重量比%又は容量比%を明示すること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 4 酸素吹込式の炉については、参考事項として酸素吹込量、使用時間等を記載すること。

別紙 3

ばい煙の処理の方法

ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号				
処理に係るばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号				
ばい煙発生施設の種類、名称及び型式				
設置年月日（既設のもの）		年 月 日	年 月 日	
工事着手予定年月日		年 月 日	年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日	
処理能力	排出ガス量 ( $m^3N/h$ )	最大		
		通常		
	排出ガス温度 ( $^{\circ}C$ )	処理前		
		処理後		
	ばい煙の濃度	ばいじん ( $g/m^3N$ )	処理前	
			処理後	
		いおう酸化物 (容量比 ppm)	処理前	
			処理後	
	ばい煙量 ( $m^3N/h$ )	最大	処理前	
			処理後	
		通常	処理前	
			処理後	
捕集効率 (%)	ばいじん			
	いおう酸化物			
	鉛及びその化合物			
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	時～時 時間/回 回/日 日/月	時～時 時間/回 回/日 日/月	
	季節変動の有無及びその概要			
排出口の実高さ (m)				
補正された排出口の実高さ (m)				
排出速度 ( $m/s$ )				

備考

- 1 設置の届出の場合には工事着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用の届出の場合には設置年月日の欄に、構造の変更等の届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 補正された排出口の高さは、別表第1の1ばい煙に係る特定施設及び規制基準の表の備考第1項の規定による算式により算定すること。
- 4 ばい煙発生施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

## 別紙4

粉じんに係る特定施設（破碎機、摩砕機）の  
構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業所における施設番号			
名 称 及 び 型 式			
設 置 年 月 日（既設のもの）		年 月 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
規 模	原 動 機 の 定 格 出 力 (kW)		
	処 理 能 力 (t/h)		
処理対象物の種類及び通常の間処理量 (通常) (t/月)			
使 用 及 び 管 理 の 方 法	破碎機又は摩砕機がその中に設置されている建築物の構造		
	集 じん 機	集 じん 機 の 種 類 ・ 型 式	
		集 じん 機 効 率 (%)	
		送 風 機 の 原 動 機 出 力 (kW)	
	散 水	装 置 の 種 類 ・ 型 式	
		装 置 の 能 力 (m <sup>3</sup> /h)	
		処 理 量 当 た り の 散 水 量 (L/t)	
	防 じん カ バ ー の 設 置 状 況		
	そ の 他	方 法	

## 備考

- 1 設置の届出の場合には工事着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用の届出の場合には設置年月日の欄に、構造の変更等の届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 その他の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 3 粉じん発生施設及び粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。